

Ⅲ 人権教育

人づくりはまちづくりから、まちづくりは人づくりから

～交流を通して人権意識の高揚を～

八女市立花公民館長 古川昭人

① 事業名 たちばなアンビネット

② 事業の目的

大人と子どもが活動し、交流することによって、住民の人権意識の高揚を図る。

③ 事業の実施主体 ☆ たちばなアンビネット実行委員会

④ 連携・協力機関・団体等

福岡県アンビシャス運動推進室

⑤ 事業予算 補助金 30万円

⑥ 実施に至る経緯

少子高齢化が進行する現在、地域の活性化を目指すため、公民館活動の一環として、大人と子どもが活動する団体を8団体設立した。活動は4地域でそれぞれの団体の自主性で活動し、年度末には、一堂に会し、それぞれの成果を「たちばなアンビネットフェスティバル」において発表し、人と人、地域と地域の交流を図り、地域の絆を深め、人権意識の高揚を図り、明るい、そして、楽しいまちづくりに取り組んだ。

⑦ プログラム作成の視点

- ・ 地域の教育力を活かして大人と子どもがいっしょに活動すること。
- ・ 月1回以上の活動をする。
- ・ 指導者や活動場所は、地域の施設・指導者は各団体で確保すること。必要であれば、自立するまで指導者等は事務局で世話をする。
- ・ 「たちばなアンビネットフェスティバル」で成果を発表し合うこと。

⑧ 事業の内容

◎設立した8団体

- ・和太鼓 ・昔話教室2団体 ・コーラス2団体 ・野球教室 ・劇遊び教室 ・ダンス

◎その後設立した団体

- ・ロックバンド ・ミュージカル劇団・ダンス

◎八女市へ合併後

- ・ヒップホップダンス（上陽地区）・ダンス（黒木地区）・公卿唄（矢部地区）・人形浄瑠璃（旧八女市）・和太鼓（星野地区）・保育園

スタート当時は、8団体でスタートしたが、地域で活動する団体は、15団体へと増えた。

そして、地域への啓蒙を図るため、協力団体として、2小学校、1中学校が加入してもらった。チラシ配布・地域への啓蒙等で非常に助かっている。

今までは、公民館が主体で、発表会「たちばなアンビネットフェスティバル」の企画・運営をしていたが、地域の若者による約30名の「ランドマ



ランドマーク

ーク」が設立され、23年度からは、このグループが企画・運営して行く。

⑨ 事業の成果（発表会の様子）

◎立花地区



もみじ太鼓



コスモス



フレンズ



昔話教室「サーチ」



たちばなベンチャーズ



さくら座



つくしんぼ



ネイチャーズ



バザー会場の様子

◎立花地区以外より



たけのこおどり



スタイル



公卿唄を広める会



八女市灯籠人形こども教室



山留太鼓



西日本短期大学附属高等学校
「よさこいソーラン」野球部



野球教室「ブルースカイ」

◎ 少子高齢化が進む本地区では、次第に過疎化がふかまってきた。3小学校と2中学校は合併し廃校となった。このままでは寂しい地区へとなることは目に見えている。これまで公民館利用者は、高齢者がほとんどで寂しい限りである。しかし、地域には隠れた教育力（ひと・もの・こと）は豊富であると考え大人と子どもの実態に応じて活動内容や活動場所を確保すれば、交流が深まり、明るく楽しい地域になるのではないかと考えた。そして、それと共に交流によって人権意識の高揚を期待し5年目を迎えた。5年間の成果は次のようにとらえている。

- ・大人と子どもの信頼関係は構築され、日常生活に活かされている。
- ・参加者の保護者間の交流ができています。
- ・参加団体は、地域の行事等から声がかかるようになり、交流のすそ野が広がっている。
- ・団体のメンバーが独自に行事を立ち上げ、地域でのイベントが地域住民を巻き込み、定着しつつある。「ザ・ベンチャーズサウンズフェスティバル」
- ・この活動は、高齢者にとって、生き甲斐の場となりつつある。
- ・この活動を通じて、約30名の若者のグループが設立され、独自の活動をはじめた。「ランドマーク」
- ・子ども達は、誰とでも話ができるようになってきた。
- ・学校が廃校と共に解散したグループが、地域の要望から再び活動を始めた。

責任者Kさんの感想)

春休み、夏休みになると子ども達がサロンに参加して、童謡や唱歌を歌います。これは、お年寄りがたいへん喜ばれます。また、夏休みには、自由研究と言ってサロンに遊びに来て、松ぼっくりを使っておどけた動物ができ二学期それを提出したそうです。道であっても「Kおばちゃん」と声をかけてくれます。

また、子どものお母さん達ともいろいろ交流することができ、地域の触れ合いを感じます。

⑪ 今後の課題

今後、この活動を継続し、活性化を目指すためには、

- ・地域の自治公民館長の積極的な支援と協力が必要である。
- ・活動資金が必要である。
- ・各団体の指導者や世話人の後継者づくりが大切である。
- ・今後、小中学校の発表を期待している。



八女市立花公民館

834-0074 八女市立花町谷川 1111

T E L 0943-37-1522

F A X 0943-37-1532